

Press Release

2015年2月

報道関係各位

バイオトロニックジャパン株式会社

MRI検査が可能な条件付きMRI対応両室ペーシング機能付き 植込み型除細動器を発売

バイオトロニックジャパン株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:ジェフリー・アニス)は、2015年2月より、MRI検査が可能な条件付きMRI対応両室ペーシング機能付き植込み型除細動器「イトレヴィア 7 CRT-D ProMRI」の販売を開始いたしました。

弊社は、従来MRI検査が禁忌とされていた両室ペーシング機能付き植込み型除細動器(以下、CRT-D)の常識を覆し、2013年10月特定の条件下でのMRI検査を可能にした本邦初のCRT-D「イレスト 7 CRT-D Pro」を発売しました。近年、条件付きMRI対応のCIEDs(心臓血管植込み型電子デバイス)は新規植込み手術において機種選定のゴールドスタンダードになりつつあり、「イレスト 7 CRT-D Pro」の発売は、日本の医療に大きく貢献できたものと自負しております。この度弊社が販売開始した「イトレヴィア 7 CRT-D ProMRI」は、「イレスト 7 CRT-D Pro」の後継機種であり、引き続き本邦では唯一の条件付きMRI対応CRT-Dとなっております。

また「イトレヴィア 7 CRT-D ProMRI」は、弊社製品の特長であるBIOTRONIK Home Monitoring[®]を使用できるデバイスです。昨年、一流医学誌であるThe Lancetにおいて、「ICDやCRT-Dが適応される心機能が低下した患者に対する臨床試験の結果^{*1}では、Home Monitoring[®]を使用した患者群では使用していない患者群に比べ臨床状態が改善、総死亡率および循環器系死亡率が有意に減少した」と報告されています。

*1: Hindricks G et al., Implant-based multiparameter telemonitoring of patients with heart failure (IN-TIME): a randomized controlled trial. The Lancet 2014; 384(9943).

BIOTRONIK社について

BIOTRONIK社は世界を代表する心臓血管関連の医療機器製造業者の1つで、ドイツのベルリン本社をはじめとして全世界に5,600人以上の従業員を抱え、100を超える国と地域で事業展開し、数百万個の機器の植込み実績を誇っています。1963年にドイツ初の植込み型心臓ペースメーカを開発して以来、BIOTRONIK社は、市場にいくつものイノベーションを発表してきました。その代表的なものとして、2000年に米国で導入された世界初の心臓植込み型デバイスの遠隔モニタリングシステムであるBIOTRONIK Home Monitoring[®]や、2012年に欧州で認可された世界初の条件付きMRI対応植込み型除細動器および同両室ペーシング機能付き植込み型除細動器などがあります。

バイオトロニックジャパン株式会社について

バイオトロニックジャパン株式会社は、ドイツ・BIOTRONIK社の心疾患治療技術をいち早く日本に導入するため、2003年10月に日本バイオトロニック株式会社として設立された日本法人です。2005年9月にバイオトロニックジャパン株式会社と改名しました。ドイツ企業特有の技術力と製品開発力、医師、コメディカルおよび患者さんのニーズを素早く反映するスピードを活かし、今後も日本における先端技術のイノベーションを目指して活動しています。

<http://www.biotronik.jp>

(本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先)

バイオトロニックジャパン株式会社

マーケティング部

プロダクトマネージャー

佐々木 博人

Tel: 03-3473-7476

E-mail: hiroto.sasaki@biotronik.com